

各位

株式会社安評センター

## 「LC-MS/MS」装置導入に関するお知らせ

トランスジェニックグループの株式会社安評センター（代表取締役社長：福永健司、静岡県磐田市）は、この度、LC-MS/MS装置<sup>※1</sup>を導入し、試験受託を開始いたしますので、ここにお知らせいたします。

当社では、LC-MS/MS装置の稼働を数年前に廃止しておりましたので、試験サンプル中の低濃度成分の分析に関してはワンストップでのサービスをご提供できず、試験委託者の皆様にはご迷惑をおかけしてまいりました。今回、装置導入に踏み切った背景は、このご不便を解消するとともに、CRO<sup>※2</sup>として、より複雑な試験に対応した高感度なデータをご提供できるようにするという目的に基づくものです。

今回導入した機器は、フロントにはACQUITY I-class Plus、MSとしてXevo TQ-S microを採用いたしました。どちらもWaters製となっています。ACQUITY I-class Plusは、最大18,000psiまで耐用可能な超高速液体クロマトグラフです。業界屈指の低システム容量と高圧グラジエントポンプによって、拡散の小さい安定した分析を実現します。Xevo TQ-S microは2014年発表のタンデム四重極質量分析計です。高感度分析を追求した魅力的なモデルで、特に生体成分の分析に威力を発揮します。幅広いダイナミックレンジに対応できるため、サンプル間の濃度差が大きいTK<sup>※3</sup>あるいはPK<sup>※4</sup>のような分析において最適な仕様となっています。

当社は、動物実験施設として幅広く試験を実施できる強みがありますが、これに加え、今回のLC-MS/MS装置の導入によって、ワンストップでTKおよびPK試験を提供する体制を実現いたします。

※1 LC-MS/MS装置 化合物を液体クロマトグラフィ（LC）にて分離し、分離された物質を質量分析装置（MS）にてイオン化し分析する過程を2段階行い、高精度で分子を同定する装置。

※2 CRO 開発業務受託機関。企業等の依頼によって、医薬品、医療機器、食品(特定保健用健康食品)、化粧品等の臨床開発及び臨床試験(治験)に関わる業務を受託する機関。

※3 TK 医薬品の開発における毒性試験の不可欠な構成要素として、あるいは特にデザインされた補助的試験として、全身的曝露を評価するために、薬物動態データを得ること。

※4 PK 薬物（用法用量）が投与された後の、生体内で吸収、分布、代謝、排泄という一連の過程を経た体内薬物濃度（量）の推移。



I-Class/XevoTQ-S micro

### 【株式会社安評センターについて】

多数の製薬企業・化学企業等からの基金を元に1978年に設立された公益財団法人食品農医薬品安全性評価センターが前身です。GLP（Good Laboratory Practice：優良試験所基準）及びAAALAC（国際実験動物ケア評価認証協会）認証施設において、科学性と信頼性に立脚した安全性評価を通じて人類の幸福に貢献することを使命と位置づけ、医薬品、食品、食品添加物、農薬、飼料添加物、一般工業化学物質等の化学物質の安全性を評価するための各種試験研究を受託しています。

### お問い合わせ先

株式会社 安評センター 事業推進部  
〒437-1213 静岡県磐田市塩新田 582-2  
E-Mail : [contact@anpyo.co.jp](mailto:contact@anpyo.co.jp) URL : <https://www.anpyo.co.jp/>